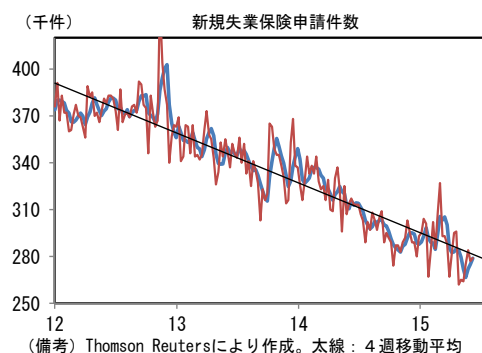
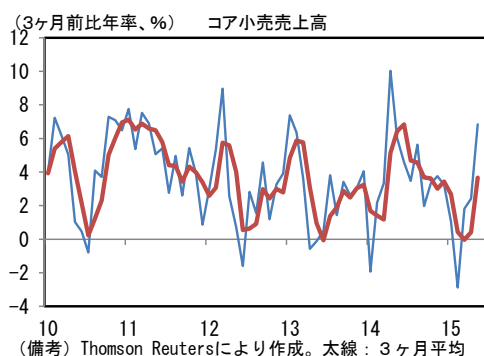


【海外経済指標他】～小売統計：顕著に反発～

- ・5月米小売売上高は前月比+1.2%と市場予想に一致。自動車販売台数の増加を反映して自動車(+2.1%)が伸びたほか、ガソリン価格の反発に伴いガソリン(+3.7%)が急増。それらを除いたベースでも+0.7%(市場予想+0.5%)と強く、最重要項目のコア小売売上高は+0.7%と市場予想(+0.5%)を上回ったうえ、過去分も大幅に上方修正(3月0.4%pt、4月0.1%pt)。3ヶ月前比年率では+3.7%と基調ははっきりと反発。幾度にわたって市場参加者を失望させてきた消費統計はここへ来て息を吹き返している。消費者マインドに照らし合わせて著しく上昇していた貯蓄率から判断すると、今後は貯蓄率低下(消費性向上昇)を伴った消費増が期待される。
- ・新規失業保険申請件数は27.9万件と前週(27.7万件)から微増。4週移動平均は27.9万件と僅かに増加したものの、15年ぶり低水準をキープ。目下の失業保険申請件数は雇用統計NFPが年率2%、毎月25万人ペースで増加することと整合的。労働市場の力強い回復を示している。



【海外株式市場・外国為替相場・債券市場】

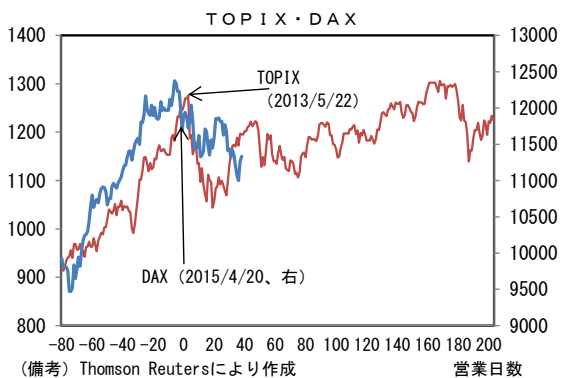
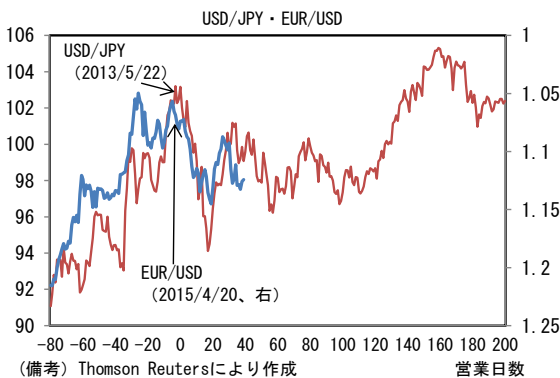
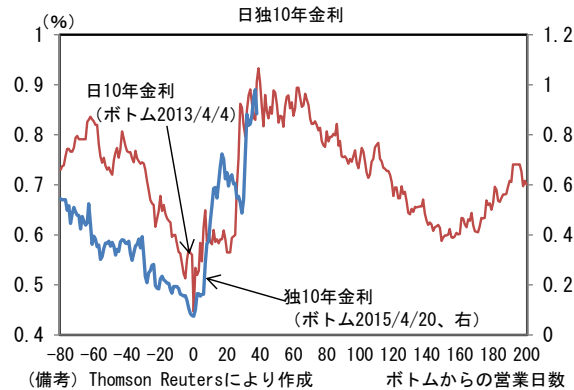
- ・前日の米国株は続伸。米指標好調・米金利低下を好感。欧州市場も総じて堅調。欧州債金利の低下を好感。
- ・前日のG10通貨はUSDの強さが目立った一方、RBNZのサプライズ利下げを受けたNZDの弱さが目立った。USD/JPYは123半ばまで戻し、EUR/USDは1.12半ばまで下落。
- ・米10年金利は▲10.7bpの2.377%。ブズ債ラリーに追随したほか、米指標好調で投資家心理が改善、直近のボラティリティ上昇を受けてリスクアセット化しつつあった米国債にショートカバーが入った。欧州債市場は総じて堅調。独10年金利が0.864%(▲9.7bp)まで急低下したほか、イタリア、スペイン10年金利も大幅低下。なお、バイトマン独連銀総裁は「現在のボラティリティは異例に高いというわけでもない」、「リスク認識を促すという点において寧ろ歓迎される」と発言したものの、市場の反応は限定的。

【国内株式市場・経済指標他】～中国経済指標：まちまち～

- ・日本株は欧米株ラリーに追随して高寄り。
- ・昨日発表の5月中国経済指標は鉱工業生産(前年比+6.1%)と小売売上高(+10.1%)が市場予想に一致したものの、固定資産投資(+11.4%)は市場予想(+11.9%)を下振れた。中国経済は1Qに急減速した後、2Qは緩やかに改善している模様だが、依然としてリスクは下向きだ。

【注目点】

・10日の欧州市場で独10年金利が1%にタッチした後、11日には9.7bp低下するなど欧州債市場のボラティリティ上昇が継続中。欧米株式市場はこの2営業日に大幅反発したものの、欧州債市場のボラティリティが低下しない限りグローバル投資家のセンチメントは改善しにくい。警戒モードを緩めるのは時期尚早だろう。2013年に円債市場が混乱に陥った際、それがその後の日本株下落、USD/JPY下落を誘発したことを思い出されたい。当時の円債市場は長期ゾーンのみならず短期ゾーンも打撃を被ったのに対して今次局面の欧州債市場は短期ゾーンが比較的落ち着いているという相違点もあるが、それは飽くまで小粒な違いでしかない。大規模緩和発動前後の混乱という括りは同じだ。当時を再現するように目下の独10年金利、DAX、EUR/USDが2013年の円債、日本株、USD/JPYと相似形を描いていることが非常に不気味。そうした折、6月FOMC(17日)の結果が予想以上にタカ派の内容となれば、米債市場はもちろん、脆弱な欧州債市場に打撃を与えることが予想される。米欧金利上昇がグローバルリスクオフを誘発する展開に要警戒。



<主要株価指数>

	終値	前日比
日経平均※	20424.36	41.39
N Y ダウ	18,039.37	38.97
D A X (独)	11,332.78	67.39
FTSE100 (英)	6,846.74	16.47
CAC40 (仏)	4,971.37	36.46

<外国為替>※

USD/JPY	123.57	0.14
EUR/USD	1.1251	-0.00

<長期金利>※

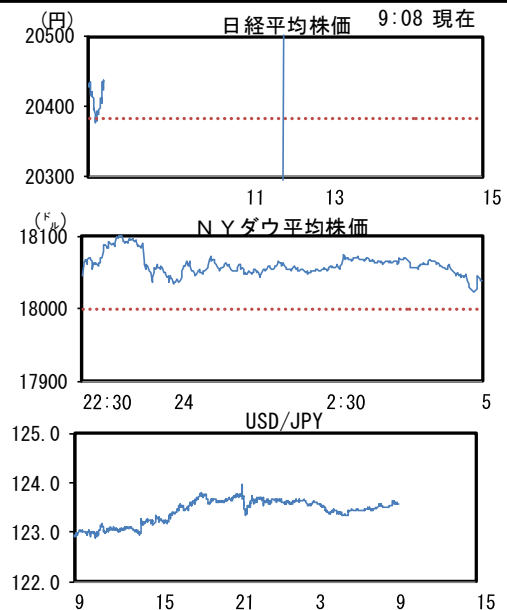
日本	0.509 %	-0.027 %
米国	2.377 %	-0.107 %
英国	2.047 %	-0.081 %
ドイツ	0.884 %	-0.097 %
フランス	1.213 %	-0.100 %
イタリア	2.143 %	-0.104 %
スペイン	2.129 %	-0.110 %

<商品>

N Y 原油	60.77 $\frac{\text{ドル}}{\text{バレル}}$	-0.66 $\frac{\text{ドル}}{\text{バレル}}$
N Y 金	1179.90 $\frac{\text{ドル}}{\text{オンス}}$	-6.20 $\frac{\text{ドル}}{\text{オンス}}$

※は右上記載時刻における直近値。図中の点線は前日終値。

(出所) Bloomberg



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。